

IT パスポートテキストの特徴

B5 判 270 ページ 想定時間数 50 時間 価格 2,625 円(税込)

平成 21 年 11 月 30 日発刊

IT パスポートテキストには、次のような特徴があります。

【特徴 1】

IT パスポート試験（レベル 1）シラバス改訂版（Ver. 1.1）【平成 20 年 10 月 27 日 IPA 公表】の内容を確実に反映させたテキストです。

さらに、シラバスに掲載されていない用語やテーマに関して、平成 21 年度春期 IT パスポート試験、平成 21 年度秋期 IT パスポート試験の出題内容を網羅しています。

平成 21 年度秋期 IT パスポート試験の合格率が低かったことにより、今後、シラバス中心の出題、平成 21 年度春期試験、平成 21 年度秋期試験と同一テーマでの出題が多くなると考えられます。

表 1 は、平成 21 年度春期試験と平成 21 年度秋期試験におきまして、シラバスに載っていない用語やテーマを抜き出し、本テキストの掲載ページを一覧しています。

表 1 IT パスポート試験のシラバスに載っていない用語やテーマのテキスト掲載ページ

平成 21 年度春期 IT パスポート試験			平成 21 年度秋期 IT パスポート試験			
	問	用語やテーマ	掲載ページ	問	用語やテーマ	掲載ページ
ストラテジ系	問 4	ニッチ戦略	71	問 1	デファクトスタンダード	59
	問 13	株主総会	5	問 8	ファブレス	68
	問 23	部品展開	30	問 18	管理会計	38
	問 28	ジャストインタイム	77	問 22	マーケティングミックス	70~71
	問 31	プロダクトライフサイクル	67	問 24	デジタルデバイド	89
マネジメント系				問 26	アフィリエイト	78
	問 36	マイルストーン	132	問 36	リスクシミュレーション	133
	問 39	可用性	139	問 41	プロジェクト憲章	131
テクノロジー系	問 45	レグレッションテスト	111			
	問 60	プラグイン	226	問 57	SSD	203
	問 73	クラスタシステム	215	問 58	ワーム	257
	問 79	ブレード型サーバ	210	問 59	仮想記憶方式	221
	問 81	マクロウイルス	257	問 61	スル- プット	211
	問 88	ログファイル	247	問 68	アプレット	226
				問 70	一様乱数	168
				問 71	スパムメール	258
				問 75	RSS	195
				問 77	FTTH	255
			問 78	RAID	216	
			問 85	認証局 (CA)	261	
13 問			19 問			

しかし、今後もシラバスに掲載されていない用語やテーマも継続して出題される可能性も無視できません。本テキストは、今後出題が予想される用語やテーマに関しても、できるかぎり掲載しておりますが、平成 22 年度春期試験におきまして、本テキストに掲載されていない用語やテーマが出題された場合は、補助資料として Web よりダウンロードを可能にする予定です（平成 22 年 6 月の予定）。

なお、章末の演習問題には、平成 21 年度春期試験の過去問題のみ掲載しています。

理由は、次のとおりです。

基本情報技術者試験の分析から、過去問題の再出題は、1 年半経過時以降です。

平成 21 年度春期試験の再出題は平成 22 年度秋期試験以降、平成 21 年度秋期試験の再出題は平成 23 年度春期試験以降であると予想されます。

平成 21 年度秋期試験の問題は直前答練で使用することが可能です。

【特徴 2】

重要用語に関して、穴埋めと太字表記の二つの方式を採用し、効果的で効率的な授業を可能にいたします。

出題頻度の高い重要用語は穴埋め方式を採用しています。穴埋め方式の採用により、授業中に“書いたら覚える”ことを徹底できるとともに、穴埋めでのタイミングにより教師と学生の同期がとれ、授業運営がスムーズに行えます。本テキストは、メリハリのある効果的な授業を実現する“授業用テキスト”として最適です。

また、穴埋めではない重要用語は太字表記（英数字は Century）にしています。これは、“マークでマークしたら覚える”ことを徹底し、穴埋め方式で記述する時間を短縮し、効率的な授業を実現します。

<テキストサンプル>

2. エンジニアリングシステム

エンジニアリング分野では、自動化や効率化などを目的として、次のようなシステムが利用されている。

- (1) (Computer Aided Design)
製品の設計をコンピュータで支援するシステムであり、グラフィックディスプレイを会話型で利用して設計図などを作成する。
- (2) (Computer Aided Manufacturing)
製品の製造をコンピュータで支援するシステムであり、自動組立機械や産業用ロボットなどの制御プログラムやデータなどを、コンピュータを利用して作成する。
- (3) (Computer Integrated Manufacturing, コンピュータ統合生産)
経営戦略, 受注管理, 生産管理, 工程管理など, 製造業のすべての部分について, コンピュータで統合管理しようとするシステムである。
- (4) FA (Factory Automation, ファクトリオートメーション)
コンピュータを用いて産業用ロボットなどを制御して, 工場における生産工程を自動化するシステムである。
- (5) MRP (Material Requirements Planning, 資材所要量計画)
生産に必要な資材の所要量 (必要量) を決定し, 生産計画を立てる作業を, コンピュータで支援するシステムである。

【特徴3】

本テキストをご採用いただいたお客様向けに、様々な授業サポートを実施する予定です。

章単位の演習問題（大問 102 題）は、Web よりダウンロードできます。授業での演習用、家庭学習用、確認テスト用などに活用できます。

テキストの PDF 版を Web よりダウンロードできます。プロジェクタを使用して投影することで、より効果的な授業が実現できます。

その他、今後の情報に応じて随時対応していきます。